

2005 年度 日本液晶学会第 5 回理事会議事録

日 時：2005 年 11 月 19 日（土）午後 1 時 00 分～5 時 30 分

会 場：東京工業大学イノベーションセンター 805 号室（田町）

出 席：竹添秀男，鳥海弥和，赤木和夫，清水 洋，内藤裕義，森 裕行，平岡一幸，山本 潤，川月喜弘，
高橋泰樹，伊達宗和，中山敬三，袋 裕善，藤掛英夫，竹内清文，

欠 席：小野浩司，木村直史，松川秀樹，松下哲也

オブザーバー出席：沼田（事務局），藤原（プロアクティブ）

議 案

1) 承認事項

1-1 会員入退会の承認

- ・2005 年度 8～11 月の入退会者数が会員委員会より報告され，承認された。

2) 報告事項

2-1 総務委員会（資料 05-11-1）

（次年度への引継事項：清水総務担当理事）

引継資料の説明の後質疑応答。次年度引継事項に日本液晶学会 10 周年記念事業としていままで議論のあった出版事業をくわえることとなった。

（学会賞について：赤木副会長）

赤木副会長より，今年度の学会賞選考に関する選択決定の対象となる母集団の問題で，今後は推薦委員会の機能性の改善を行うために推薦委員会と選考委員会との役割分担の明確化の重要性が指摘され次年度への引継提言があった。編集委員会やフォーラム主査会議活用の意見が出され次期理事会の継続審議事項とした。尚，学会賞を設けた経緯と理念としては，授与することは必ずしもしなければならないという前提に立っておらず，状況によっては賞を出さないことを選択肢もあるとの意見もあった。

2-1 編集委員会（資料 05-11-2）

（次年度への引継事項：山本編集担当理事）

現状の整理を説明。

- ・適宜編集委員の交代を行っており，新委員選定の際には掲載内容のバランス等を良好に保つために適材の人選に努力している。
- ・原稿のストックは単年度だけでなく，複数年を見越して十分な数をストックしておく必要がある。
- ・学会設立 10 周年企画として，情報委員会からこれまでの掲載原稿の CD-ROM 化の提案があり，検討を行っている。時期的にもまもなく検討委員会を設置する必要がある。

10 周年記念企画については鳥海副会長より，以前からサマースクール，講座の出版事業の話も出ており，それらと整合性をとりながら調整してほしいとのご要望があった。

2-3 情報委員会（資料 05-11-3（1））

（次年度への引継事項：情報連絡体制の整備：伊達情報担当理事）

- ・2005 年度内に実施の作業を総整理。
- ・次年度以降の JLCS-News の配信作業は MMB の情報配信機能を利用して事務局に代行することを検討

中。

(情報化検討委員会報告，資料 05-11-3 (2)：伊達情報担当理事)

- ・2005 年度の情報化検討委員会の最終報告がなされた。主たる検討内容は予稿集の CD-ROM 化。
- ・情報化検討委員会は 2005 年度で解散，次年度以降は，現地実行委員会もしくは情報委員会で引き継ぐ。情報委員会としては，各種連絡のスムーズさ，決定の迅速さ等の点で現地実行委員会の下に設置を希望する旨の意向を受けて情報化検討委員会は現地実行委員会の下に置くことが了承された。

2-4 行事委員会 (資料 05-11-4)

(次年度への引継事項：川月行事担当理事)

- ・2006 年日本液晶学会討論会・講演会現地実行委員会 (案) のメンバーが報告された。
- ・本件は、前回理事会でも確認の通り理事会においては行事担当理事の所管であり、実行委員には行事担当理事，プログラム委員には研究会担当理事を組み入れることの要望を，川月理事から 2006 年実行委員長佐藤進先生にご連絡する。

(2006 年液討準備委員会報告：鳥海準備委員会委員)

- ・10/24 に準備委員会が秋田大学で開催され，その際の議事録を基に準備状況報告。
- ・理事会ですでに大筋合意に達している予稿集の CD-ROM 化及びそれに伴う CD の事前配布は 2006 年度は予稿集は CD-ROM，当日用はアブストラクト集 (1 ページに 2 演題，データは J-STAGE のプログラム選定用のものを利用) を配布することで準備委員会としては合意に至った。発送は実行委員会で行うか事務局で行うかは未定。
- ・これまでの液討は当日参加の割合が多く，当日の事務作業が煩雑化の要因。当日運営をスムーズにさせるためにも事前参加登録を徹底させる必要があるとの認識から CD-ROM 事前配布の目的は事前参加登録の徹底を図ることも意図との説明。また、年々，参加者が減少している。その原因は発表内容とロケーションの 2 つが絡む。少なくとも次年度の秋田大会での参加者減少は避けられそうもないと考えられるが，参加者が減少しても学会員が連動しないように，これまでフリーであった登壇者 (発表者) は会員有資格者でなければならない条件を付ける，SID のように参加費自体に会費を加えてしまい会員登録させるなど，何らかの対策が必要との意見。これに対し、CD-ROM 事前発送，アブストラクト集製作→承認。ただし，これまで当日参加は企業の方が多く，企業の方や賛助会員の場合は事前に参加人数を特定することが難しいので登録できない可能性が高いことが考えられる。事前登録を徹底させるとなると，そのようなケースの場合は事前発送の CD-ROM は入手できないことになる。したがって，事前登録締め切り後の参加費支払いについてもできるだけ当日までに CD-ROM を発送するような処置を要望との意見に集約。この方向での対応を御願ひすることとなった。
- ・会告を徹底させるために，会誌に掲載することを復活させる。例年 4 月号に簡単な会告記事を掲載してきたが，2006 年度からは 1 月号に掲載することとなった。但し，出版予算の超過には留意。
- ・招待講演などの謝礼，参加登録費額のスタンダード化についても指摘があり，後者は会告案内掲載前に実行委員会と調整の上で決める。

2-5 会員委員会 (資料 05-11-5)

(次年度への引継事項：袋会員担当理事)

- ・11/12 に新理事を含めて引継ぎのための委員会を開催した旨の報告。
- ・入会方法：ホームページから MMB を通じて手続きを行うことに一本化。支払方法もコンビニ決済を原

則とすることになったが、振込手数料を今後も学会負担とするか否かは継続審議事項。MMBでの退会者画面で退会申請日が表示されないのが不便であるので改善を要望する。

- ・新ポスター、パンフレット：印刷完了済み。
- ・会員増強：賛助会員のメリットを強化する（会誌、液討での賛助企業名の表示など）

2-6 研究委員会（資料 05-11-6）

（次年度への引継事項：藤掛研究会担当理事）

- ・各フォーラムに事業計画、シーズマネー申請の方法、時期等スケジューリング、学会の関連する委員会との連携を伝達済み。
- ・次年度の課題：主査会議によるシーズマネーの弾力運営、主査会議の規約策定、フォーラム講演会の開催ガイドラインの作成（主に会計処理について）、フォーラム全体による学会の新イベントの企画等。主査会議の位置づけ強化に伴うシーズマネーの弾力運営については大筋でこれを了承。

2-8 2005 年液晶討論会実行委員会（資料 05-11-7）

（報告事項：川月行事担当理事）

- ・2005 年度液討実行委員長の中村尚武先生（立命大）から提出された資料に基づき、川月理事が代理報告（御本人海外出張中のため）。
- ・討論会参加者数は昨年を下回り 456 名に留まったが、支出。収入の結果は実質的に昨年度並み。

2-9 財務委員会（資料番号なし）

（次年度への引継事項：森財務担当理事）

- ・会費徴収率：11/19 現在で約 75%。振込手数料負担の見直し、賛助会員の増強、広告収入増の検討が必要。
- ・口座管理：平岡次期財務委員長へ財務理事管理の口座の引継ぎを行う。財務理事口座にも徴収した会費及び事務局管理口座への非送金の実態で多額になっている状況。個人名義口座であることやペイオフ等の問題から、何らかの処置をとるべきとの意見に本件、継続審議する。
- ・フォーラムシーズマネーの拠出時期：次年度事業に対するの準備金であるが、事業開催時期が次年度早々となる場合は前年度中に準備金を貸し出す必要もあり、帳簿上記載の問題がなければ拠出は可能との判断も継続審議とした。

（その他）

- ・会費未納者への督促の際に、レターヘッドも使用されず、学会印もなかったことが目についた。今後の注意を喚起。

3) 審議事項

3-1 会員管理システムの改善：森財務担当理事

10 月初旬の会費未納者 377 名に対する督促に際し、一部会費既納者、退会者が含まれていた件につき調査を実施。その結果に基づき、事務局代行を依頼しているプロアクティブ社に対して学会長名でシステム改善要望書を提出と同時に本件に対してプロアクティブ社側から理事会席上で回答を要求。回答は以下の通り。

(1) 二重請求の防止

2005 年 7 月 20 日に適用した新 MMB システムでは、再発行時に発行済み請求書番号の無効化処理が施さ

れる改善プロセスにより今後二重請求は発生しない状況を創出。

(2) 既納者・未納者・退会者の正確な区別と検索

2005年10月5日時点で、請求・入金状況のダウンロードデータに在会状況(在会・退会)の項目を追加、支払方法別の既納者・未納者の検索、抽出方法の再定義およびその管理画面へ明記により、事務局担当者がデータの利用目的に応じてデータを容易かつ正確に抽出可能なシステム改善を完了。

(3) 二重登録チェック機能

登録時に同一人物かどうかをシステム上で判断するのが困難。よって、登録後事務局担当者が追跡調査及び確認可能な状況を創出するため姓名・生年月日の一致する人物を抽出できるリストを追加。

(4) コンビニ振込、クレジットカード納入、銀行振込みの一元管理

別途会費徴収方法、およびMMB運用方法にて改善。

(5) 退会者の退会日入力

管理画面に追加する。

その他、今回の不手際は人為的ミスをも含んでおり、今後は抽出データは厳重に二重チェックを行うなど、再発防止に努めることの回答もあり、これを了承した。

3-2 プロアクティブ社との来期契約

プロアクティブ社から、来期契約書(案)と業務委託費の見積書が提示され、検討を行った。今年度契約書に明記がなく作業が発生した項目については、来年度契約書には追加記載された上で提示されたが、不足項目、削除項目などを理事会後に最終的に取りまとめて内容を固め(最終案を別途メール審議)、12月末の契約を締結を予定。

4) その他

- ・次回理事会：2006年1月末、2月初旬で調整

配布資料

資料 2005-11-01：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(総務委員会)

資料 2005-11-02：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(編集委員会)

資料 2005-11-03：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(情報委員会)

資料 2005-11-04：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(行事委員会)

資料 2005-11-05：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(会員委員会)

資料 2005-11-06：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(研究委員会)

資料 2005-11-07：2005年度第5回日本液晶学会理事会資料(2005年度日本液晶学会討論会実行委員会)

資料番号なし：財務委員会報告

資料番号なし：会員管理システム改善要望書および回答書、2006年度契約書(案)

日本液晶学会理事会アクションリスト

2003-1-09：行事開催地公募制再検討(行事、総務)

2003-4-01：講演会・討論会の開催方法の検討(行事、総務、財務)

2004-1-05：幽霊会員の防止対策・会費徴収方法・学生会員の管理・登録フォーマットの整備(会員委員会)

2004-2-02：出版事業に関するプロジェクトチーム編成、および調査(会長、副会長、総務、編集委員会)

2005-1-02：学会賞推薦基準の見直し(会長、表彰委員会委員長)

2005-1-03 : 役員数の見直し (会長, 副会長, 総務)

2005-2-03 : サマースクール, フォーラムの口座開設と管理方法 (会長, 副会長, 総務委員会, 研究委員会)

2005-5-01 : 情報化検討委員会の継続 (会長, 副会長, 総務, 現地実行委員会, 情報委員会)

2005-5-02 : 討論会の登壇資格, 謝礼, 参加費等 (会長, 副会長, 総務, 現地実行委員会)

2005-5-03 : 賛助会員へのサービス強化 (会長, 副会長, 総務, 会員, 編集委員会)

2005-5-04 : 財務理事の管理口座の継続性 (会長, 副会長, 財務委員会)

2005-5-05 : フォーラム事業等への準備金拠出時期 (会長, 副会長, 財務委員会)

以 上